

【千葉大学感染症情報】 2020/7/2 10時

新型コロナウイルス感染症について注意喚起 第15報

感染予防対策を確実に実践しましょう。

体調不良者は出席・出勤停止です。自宅待機してください。

1. 日常の健康管理について

- ① 毎日、朝夕、体温測定・健康チェックを行い、行動記録(いつ、どこで、誰と、なにをしたか)を保管しましょう。

健康観察表 http://hschome-gw.hsc.chiba-u.jp/pdf/Coronavirus2020_checklist.pdf

- ② 接触追跡アプリを利用しましょう。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

- ③ 発熱等の風邪症状・体調不良が見られるとき、新型コロナウイルス感染症と診断された/患者の濃厚接触者となった方は、総合安全衛生管理機構にメールで連絡のうえ、自宅療養・自宅待機してください。連絡について

の詳細→ <http://hschome-gw.hsc.chiba-u.jp/2020bodysymptoms.html>

- ④ 混雑した場所、屋内では、マスクやスカーフなどで口と鼻を覆いましょう。

- ⑤ トイレの後、食事の前、大学に来た時は石鹸で手洗いを確実にしましょう。帰宅時には手と顔を洗いましょう。

- ⑥ 繁華街での遊興、飲食、飲酒は自粛しましょう。

- ⑦ 出席停止(公欠)については、学生ポータルで確認してください。(※診断書は不要)

- ⑧ 自宅療養・自己隔離の準備

1. 自宅療養・自己隔離に備えて、体温計、ハンドソープ、数日分の食料(レトルト食品など保存のきくもの)や飲み物(経口補水液、ゼリー飲料など)を準備しましょう。

2. もし、自宅療養や自己隔離が必要な場合に、支援してくれる家族などを決めておきましょう。

3. 自宅療養になった際には、家族、友人、指導教員などと、連絡を取り合うようにしましょう。

- ⑨ 万が一、入院となった時に備えて、下着等着替え・充電器・持病の薬・経口補水剤などを準備しましょう。

2. 帰国者・接触者相談センター/かかりつけ医に相談する目安

- ・ **息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合はすぐに。**
- ・ **重症化しやすい方*で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合はすぐに。**

※高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方、妊婦、小児

- ・ 上記以外の方で 発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合(4日以上続く場合は必ず相談、解熱剤を飲み続けている場合も含む)

3. 総合安全衛生管理機構保健室では、新型コロナウイルス感染症の診療・検査はできません。

※附属病院職員/病院実習中の学生は病院感染制御部の指示に従ってください。